

27年度「学術英語」CALL-A(前期)「学術英語」CALL-B(後期)受講説明書

★【ポイント】★

この科目には授業時間帯がなく、コンピュータ上でリーディング、リスニング、文法の問題を自分で勉強し、『九大英単』を自分で進めていただきます（自律学習といえます）。まずはこの受講説明書を熟読して実務上のことを十分に理解して下さい（詳細は以降の別項を御覧下さい）。この科目の理念等についてはオンラインシラバスを参照して下さい。

- ・使用PC環境 **GoogleChrome** を使用して下さい。**MacOS10.10** の場合は **Windows** をインストールして御利用下さい。
- ・使用教材 1：ウェブ教材（読解、聴解、文法等：無料） 2：『九大英単』（研究社単語表現集：定価 1500 円＋税）
- ・学習開始日 ↑ 4月18日（土）↑ ↑ 4月13日（月）↑
システムの都合で↑これ以前は利用できません（後期はどちらの教材も10月1日学習開始です）
- ・ウェブ登録 **成績処理が2年前期なので、ウェブ履修登録は不要です（再履修扱いの方はH27後期からは必要です！）。**
- ・学習締切日 各学期中に3回学習締切日があり、各締切日までに所定のウェブ教材の問題を終了する必要があります。
- ・学習試験免除 第1回目の英語力診断テストのスコア次第で**学習と定期試験の免除を申請**できます。一定の条件があります。
- ・成績算定 1) 学習状況、2) 定期試験（問題+『九大英単』）、3) 2回の英語力診断テスト により算出されます。
- ・減点 **締切間際の駆け込み学習、考えずにクリックだけする、等の不正常学習があると減点で不合格になりえます。**
毎学期3回ずつある学習締切日には24時までまでに所定の問題数を完了していないと**1回毎に20点減点**します。
夏休み春休みの学習範囲の問題の終了、学習後の英語力診断テストでの20以上のスコア上昇で加点します。
- ・加点
- ・診断テスト 1年次2年次4月にある英語力診断テストは一方でも未受験だとCALL-A, CALL-Bとも不合格になります。
- ・指導連絡 教材トップページの「お知らせ」を**毎週必ず確認**。学生基本メール（1xx15xxx@s.kyushu-u.ac.jp）だけに送る細かい事項もありうるので、**学生基本メールを必ずチェックできるように**して下さい。掲示にも注意して下さい。
- ・受講説明書 この説明書は後期には配布されません（教材トップページにリンクあり）。**後期は自ら学習を始めて下さい。**
- ・再履修 2年前期の成績発表で不合格だった場合は次学期以降同一科目を再履修しますので掲示を見落とさないように。
「履修要項」p98の「受講登録」とは学期開始以前に英語科の案内に基づいてしていただく申込みのことです。
- ・問合せ CALL 担当教員土屋助教：call-instructor@flc.kyushu-u.ac.jp（本人確認のため**必ず学生基本メールから**）

★【スケジュール】★

◆学術英語 1 CALL-A◆		◆学術英語 1 CALL-B◆	
4月12日（日）：第1回英語力診断テスト受験（受験必須：未受験者救済方法は裏面参照）			
4月13日（月）：	『九大英単』学習開始	10月01日（木）：	『九大英単』&ウェブ教材の学習開始
4月18日（土）：	ウェブ教材の学習開始	11月11日（水）：	第1次学習締切（24時）
5月23日（土）：	第1次学習締切（24時）	12月23日（水）：	第2次学習締切（24時）
6月27日（土）：	第2次学習締切（24時）	2月03日（水）：	第3次学習締切（24時）
8月02日（日）：	第3次学習締切（24時）	2月04日～10日：	定期試験
8月03日～8月07日：	定期試験	2月12日～18日：	追試験
8月10日～8月14日：	追試験	2月4日～3月9日：	春期学習
8月03日～9月12日：	夏期学習		
2016年4月：第2回英語力診断テスト（受験必須）			
2016年9月：単位の認定（不合格なら後期分の再履修申込）			

★【学習範囲】★

		学習締切日	オンライン学習			『九大英単』		
			リーディング	リスニング	文法	第1部	第2部	第3部
CALL-A	前期中	05月23日迄	Reading1	Listening1	Grammar1	動詞	1～4	1～2
		06月27日迄	Reading2	Listening2	Grammar2			
		08月02日迄	Reading3	Listening3	Grammar3			
	夏休み	09月12日迄	Reading4	Listening4	Grammar4	形容詞	5～10	3～7
後期中	11月11日迄	Reading5	Listening5	Grammar5				
	12月23日迄	Reading6	Listening6	Grammar6				
	02月03日迄	Reading7	Listening7	Grammar7				
春休み	03月09日迄	Reading8	Listening8	Grammar8				

*ウェブ学習夏休み春休み分は定期試験範囲から除外しますが、完了すると各々10点加点されます。『九大英単』CALL-B夏休み分は後期の定期試験範囲に含まれます。学習締切日までに当該範囲のウェブ学習を終了しないと1回につき20点減点されます。

★【個人PCの利用と動作環境について】★

- ・個人所有のPCを利用して下さい。学内では無線LAN（edunet）へ接続します。
- ・動作環境：ブラウザ＝GoogleChrome、OS＝windows7/8/8.1 or MacOS10.6/7/8/9（6はサポートからはずれたら使わない）
MacOS10.10ではBootCampでwindows8.1×Chromeで利用（情報講習会でWindowsをインストールしているはずですが、未対応なら1号館4階情報相談室や5階iCubeへ相談して下さい）

★【ウェブ教材へのログイン】★（再履修A/Bはログイン方法が異なります）

- 1) <http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~eigo/call-a.htm>（なし）にアクセス、
- 2) 「お知らせ」チェック後「教材へ」をクリック（「お知らせ」チェックのためブックマークは必ず(1)のURLに）
- 3) 個人の全学共通認証（SSO-KID）のIDとパスワードでログイン
- 4) **（初回ログイン時のみ）ログイン直後のカレンダーが見えるページの「ログアウト」隣の「ユーザ情報の変更」で姓名4か所修正**
- 5) 左フレーム「クラス選択」で正しいクラスをクリック。**（誤ったクラスが表示されていれば学習は無効なので御連絡下さい）**
- *「再履修」の方は 1)→「お知らせ」チェック後 <https://wocmn1.gened.kyushu-u.ac.jp/WebOCMNext2015/ou/kyudai2015/login.aspx> にアクセス→別途通知を受けたIDとパスワードでログイン→初回のみ4)のユーザ情報変更で全ての項目を入力→「クラス登録」で「再履修A」and/or「再履修B」を選択→「クラス選択」で正しいクラスを選択

★【ウェブ教材からのログアウト】★

毎回の学習を終了の際は、**直接ブラウザを開いて下さい**（現在「ログアウト」ボタンは無効）

★【ウェブ教材の進め方】★

- ・与えられた学習期間に与えられた学習範囲を勉強して下さい。**クラスを選択した後、教材左帯の「教材一覧」から教材に入ります。**Reading1, Listening2などは問題のグループの名称です。その中に個別の問題が集まっています。
- ・教材システムの操作は実際に見れば感覚でわかるのでここでは述べません。わからないことはメールで担当教員にお尋ね下さい。
- ・各グループの中に多数の問題が含まれています。原則として掲載順に問題を解きます。CALL-AよりCALL-Bの方が上級です。
- ・「新世界」は学習者同士のコミュニケーションシステムです。ポータルページにリンクのあるマニュアルを参照して、活用して下さい。但し教員への連絡はメールでお願いします。
- ・毎学期3回ずつの**学習締切日の24時まで**に**所定の問題数を完了していないと1回毎に最終配点100点から20点減点**します。
- ・次々問題に取り組むドリル教材です。英語学習には楽しい実技も苦しい訓練も必要です。スポーツで言えば、楽しい試合の裏に必死のトレーニングがあるということ。この科目はトレーニングに当たります。きちんと鍛錬すれば力になりますが、手をあげれば効果無しです。力を伸ばすには、結局自分に長期に負担をかけ投資するしかないのです。配当が来るまで時間がかかります。
- ・**締切間際の駆込み学習も、各学習期間冒頭に割当てを集中して終わらせる**のも、こつこつすべき学習の観点から同様に問題です。
- ・設問を解いて消化することそれ自体は、あくまで「履修の上で最低限のこと」であり、決してそこを「目標」にしないように。通常の対面式授業で、出席だけでは評価されないのと同じです。設問を解くだけでなく、どのような出題でも対処できるよう素材を深く学習し、解説があればよく吸収して下さい。**定期試験では教材そのままでの設問で問題が出るとは全く限りません。解説からも出題されえます。**各学習締切日までの消化と設定された問題の終了は当然のこととして、その上で、どれだけ満遍なく学習できているか等を学習システムに記録された学習履歴から評価します。しっかり勉強して下さい。
- ・TAさんや担当教員から指導のメールが行くことがあります。必要な場合は返信して下さい。

★【『九大英単』について】★

- ・『九大英単 大学生のための英語表現ハンドブック』（研究社）を定期試験に備え学習して下さい。音声もダウンロード下さい。
 - 1) 重要語の語義を学習する。語義から語を選ぶ問題（と語から語義を選ぶ問題）に備える。
 - 2) 重要語のコロケーション（前後にどの表現を従えるか）を例文で学習する。具体的コロケーションを挙げる問題に備える。
 - 3) 重要語のアクセントの位置や発音を学習する。アクセント位置を選ぶ問題に備える。
 - 4) 句動詞や、場面別の様々な表現を学習する。そのような表現を構成する語を選ぶ問題に備える。
- ・**上記以外の種類の問題はありえないということではありません。**また第1部「これらの〇〇も覚えよう」からは出題しません。

★【英語力診断テストの扱いとそれに基づく学習と定期試験の免除の申請】★

- ・【**全員対象**】1年間の学習の前後の英語力診断テスト2回分のスコアが成績に算入されます。**一方で未受験だとCALL-A, CALL-Bとも不合格**になります。**2回目のスコアが20以上上昇したときはCALL-A, CALL-Bそれぞれ評点を10点加点**します。
 - ・**英語力診断テスト1回目**が未受験の場合、まず直ちに基幹教育教務係に相談して下さい。その上でひとつの手として、生協による箱崎実施のTOEFL-ITP(5/08, 6/24のどちらか1回、1ヶ月前から受付、定員に達し次第締切)を自己負担で受験して、スコア票を7月1～29日に基幹教育教務係へ提示して申請する方法があります（正確には掲示を参照）。
- ・【**申請者対象**】1回目の英語力診断テスト（これ以外では不可です）のスコア票を基幹教育教務係に5月29日までに提示・申請して認められた場合、スコアに応じ、下記のように扱います。
 - ◆520以上：CALL-Aの教材学習と定期試験を免除（CALL-Bは受講必要、後期学習開始時は特に連絡がないので自分で開始）
 - ◆570以上：CALL-A, CALL-Bの教材学習と定期試験を免除
 - ・**評点は2回の診断テストの平均スコア÷6（上限100）**（この科目では100点法で配点し最終的にA～F評価に換算）
 - ・なお**英語力診断テスト2回目**が未受験の場合は**両科目とも不合格とし、スコアが30以上下落した場合は評点を60点とする。**

★【再履修】★

- ・2年前期の成績発表でCALL-AかCALL-Bまたは両方が不合格の場合、次学期以降CALL-A, CALL-Bまたは両方（同じ学期に両方再履修することも可能ですが膨大な分量なのでお勧めしません）を履修して下さい。「**学術英語1再履修**」では**ダメ**です。
- ・**CALLの再履修には学期開始前の申込とウェブ個人履修登録（H27前期は不要）の両方が必要**です。掲示等に注意。
- ・最初の再履修の機会は2年次後期になりますので、不合格にならないように心して履修して下さい。
- ・再履修者にも教材のアカウントを発行しますが、成績算出方法や学習方法が特別なものになります。申込後に連絡があります。

★【定期試験】★

- ・試験範囲は【学習範囲】を御覧下さい。**マークシート用に鉛筆かシャープンが必要**です。定期試験期間の5限に実施します。
- ・日程の詳細は別途お知らせしますので、必ず確認して下さい。**日程の確認漏れ等による不受験に対する救済措置はありません。**
- ・追試については日程を調整しますので、直ちに基幹教育教務係へ届け出て下さい。**再試験はありません。**

★【成績評価】★

- ・毎週少なくとも2回の学習を強く推奨します。学習がコンスタントであればあるほど高い学習効果が期待されますので、学習履歴の評価（20点満点）でより高い評価を受けることができます（ムラがあると減点ということでもあります）。
- ・成績内訳は**定期試験50（ウェブ教材35、「九大英単」15）+学習履歴20+英語力診断テスト30**になります。こうして100点法で配点したものを最終的にA～F評価に換算します。
 - （英語力診断テストのスコアにより学習と定期試験が免除になった方や再履修の方はこれによりません）
- ・英語力診断テスト2回の平均スコアを20で割ったもの（但し最大30）を成績に算入します。スコアが高いほど有利になります。学習試験免除者も含め**受講者全員につき、2回の英語力診断テストの一方で未受験だとCALL-A, CALL-Bとも不合格、20以上スコアが上昇すれば10加点**とします。**学習試験免除者は2回目のスコアが30以上下落すると両科目を60とします。**
- ・学習履歴の20点は、システムに記録された学習履歴データを分析し、学習のコンスタントさをはじめとする複数の指標を総合して、ウェブ教材にどれだけ熱心に取り組んだかを0～20点の間で評価するものです。
- ・**夏休み分春休み分のウェブ教材を指定締切日までに完了した場合は1学期につき10点加点**します（再履修者を除く）。
- ・学習締切日までに所定の問題が完了していないときは1回につき20点減点します。
- ・**正答を仕入れて記入する、中身を見ずに適当に解答する等の不正は、テータ精査の上成績算定で厳しく処断**します。
- ・**成績算定基準にかかわらず、学習履歴の状況が悪いと大幅減点となったり、不合格となったり**します。
 - 例：締切直前の週にまとめて学習、リーディング先送りが目立つ、読解速度が異常に速いことが多い、答えがいつもBばかり

★【問合せ】★

- ・CALL担当土屋助教が随時受け付けます（call-instructor@flc.kyushu-u.ac.jp:@は小文字に）が、返信は平日の日中になります。
- ・**メールは必ず学生基本メール**からお願いします。そうでなければ返信致しません。（本人確認のため）
- ・ページの表示がおかしいなど、技術的な問題について問い合わせる場合は「使用回線」「端末機種」「OSの種類とバージョン」「ブラウザの種類とバージョン」「不具合詳細」「不具合頻度」「他のサイトで同じ問題が生じるか否か」についてお知らせ下さい。
- ・CALL担当教員が多忙なときは鈴木右文教授（yubun@flc.kyushu-u.ac.jp:@は小文字に）が対応できるかもしれません。